

ごじょう山

秋号
Vol.57

法人理念：思いやり 基本方針：ひとりひとりに応じた医療と福祉で社会参加をサポートします。

～看護研究について～

皆さんは、『研究』というとどのようなことを思い浮かべるでしょうか？

医療の研究だと、病気になる原因を見つけたり、病気を治す方法を見つけたりするような医師の研究が主で、看護師の研究を思い浮かべた人は少ないのではないかでしょうか？

看護師は、患者さんやご家族の苦しみ、回復の過程、健康の維持や増進に深く関わっていて、その方の人生に大きな影響を与える職業です。そのため、看護師は裏づけのないケアや看護は行わず、『根拠のある看護を行うことが重要』と言われています。そのような看護師にとって、『看護研究』は看護の基礎となり、患者さんやご家族に関わる際の拠りどころとなるものです。

また、『看護研究』の成果は、それまでの看護の中で疑問に思っていたことや課題となっていたことの整理や解決につながるだけでなく、今関わっている患者さんやご家族はもちろんのこと、病院や地域社会にも利益を生むことができるものもあります。

五条山病院では、『看護研究』を通して「患者さんやご家族にとってより良い精神科看護とは何か？」「患者さんの力をより引き出すためにはどのような看護をしたら良いのか？」などについて、長年力を入れて取り組んできました。

今回は、当院看護師が、長崎（6月）と北海道（7月）で行われた学術大会で発表した2つの看護研究について、報告したいと思います。

（☞ 次ページをご覧ください。）



退院促進活発化のための意識改革 ～地域移行支援の活用を目指して～（in 長崎）

目的

- 当院の療養病棟に勤務している看護師の地域移行支援（※）に関する理解や関心について調査し、地域移行支援を活用して行く上で必要なことについて検討することを目的として行いました。

方法

- 対象となる看護師に、地域移行支援に関して分かりやすくまとめたパンフレット（資料①）を用いて、勉強会を行いました。
- 勉強会の前後で『地域移行支援に関する理解度』や『地域移行支援の導入検討・実施』の変化について、アンケート調査を行いました。

結果と考察

- 勉強会を行うことで、看護師の地域移行支援に関する理解や知識の幅を広げることができました。
- 看護師の中で長期入院されている患者さんを退院につなげるための道筋や選択肢が増えました。
- 退院は「無理」「とても難しい」と判断していた患者さんに地域移行支援を利用することで、「もしかすると退院できるかもしれない」という可能性が浮上し、看護師間だけでなく、他職種のスタッフとの建設的な話し合いを持つきっかけにもなることが考えられました。
- そのような話し合いを重ねることで、看護師の患者さん一人一人への理解を広げ、看護やケアの質を高めることにもつながることが考えられました。
- 今後、療養病棟だけでなく、病院全体で地域移行支援に関する理解や認識を促進することで、退院支援へのアプローチをより幅広く行っていける可能性が増すことも考えられました。

（※）地域移行支援…障害をお持ちの方が、退院や施設から退所をして、地域生活に移行していく上で必要な相談や支援を行うこと。

（資料①）



精神科訪問看護 24 時間対応体制の実施状況と 有効な活用方法についての考察（in 北海道）

目的

- 平成 28 年度、29 年度の 2 年間で、『訪問看護ステーションののはな』に寄せられた利用者さんからの電話相談の内容（資料②）を分析して、今後の精神科地域医療の在り方について考える基礎とすることを目的として行いました。

方法

- 看護記録をもとに、平成 28 年度、平成 29 年度に寄せられた総電話相談件数 2005 件について内容分析を行い、考察しました。



日の電話相談内容は、病状に関することではなく、**社会生活**に関する相談が過半数を占めていました。これらは、**精神看護の特異性**であることが考えられました。

対応する看護師に求められることは、精神科医療の知識のみ**生活スキルや対人関係調整能力を持ち、利用者さんごと助言をする能力**であることが考えられました。

対応の利用者さんの中には、電話相談の内容や件数で**症状ラインを察知できる利用者さん**もいるため、適切な対応を夕に行なうことで**病状の急性増悪や再入院を防ぐことができる**分かりました。(資料③)

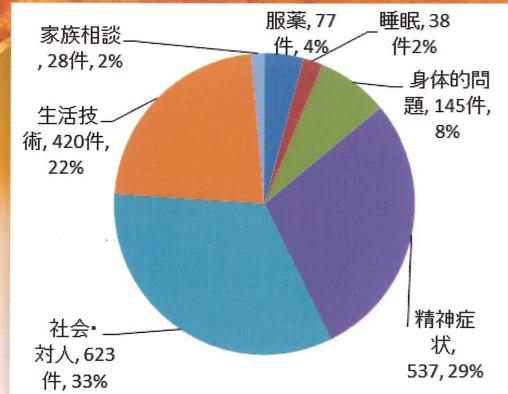
間休日対応のスタッフとそれ以外のスタッフが密に情報交換によって、**訪問看護の質をより高いものにすること**で

24時間対応は、利用者が困ったときの便利な相談サービス**利用者の問題解決能力を向上させるための看護介**づけ、援助することが重要であることが考えられました。

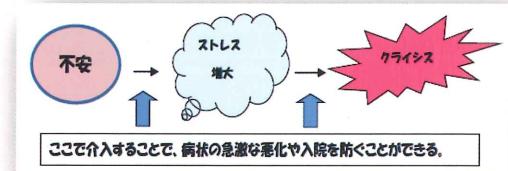
ートセンター夢より



〈資料②〉



〈資料③〉



★プラネタリウム レクリエーション★

8月20日(火)に、サポートセンター夢のメンバーで、大阪市立科学館にあるプラネタリウムを観に行きました。

プラネタリウムのテーマは、『木製と土星の世界』でした。惑星の雄大で迫力のある映像を目の当たりにしたり、その日の夜に見える星空の話を学芸員さんがイメージが膨らむように話してくれました。

メンバーからは、「感動しました」「宇宙の大きさを感じた」「自然を大切にしたいと思った」などの感想が聞かれ、車の

◆ 病床数

・精神科急性期治療病棟	51 床
・精神一般病棟	53 床
・精神療養病棟	270 床

◆ 関連施設

- ・サポートセンター「夢」
- ・相談支援事業所「夢」
- ・訪問看護ステーション「ののはな」

◆ 診療科目：精神科・心療内科・内科

◆ 診療時間：月曜日～土曜日（予約制）

午前 9:15～12:00

午後 12:45～15:00

◆ 受付時間：月曜日～土曜日

午前 9:00～16:30

（※診察は初診も含めすべて予約制です）

◆ 休診日：日曜日、祭日

年末年始（12月30日～1月3日）

5月1日、8月15日

【 診察担当医（令和元年10月1日より）】 ※11月より一部変更があります。

	診察時間	月	火	水	木	金	土
1 診	9:15～12:00	北島	神谷	北林	中前	松本	田添
2 診	9:15～12:00	神谷	北林	北島	駒喜多	町澤	速水
3 診	9:15～12:00	渡辺	浜畑	浜畑	町澤	田添	上村
	12:45～15:00	駒喜多	速水	藤田	藤田		榎原

= 女性の医師（※上記診察担当医は予定です。変更される場合があります。予めご了承下さい。）

- 当院では完全予約制を導入しています。診察は予約の順番にて行っておりますが、診察内容などで前後する場合があります。その際はご了承くださいますようお願い申し上げます。
- 初めて診察をご希望される方は、お電話にて「地域医療連携室」までお問い合わせください。

（受付時間：9:00～16:30）

お問い合わせ

☎ 0742-44-2411（地域連携室）／0742-44-1811（代表）

【 アクセス 】

〒630-8044 奈良県奈良市六条西 4-6-3 TEL : 0742-44-1811 FAX : 0742-47-5766
ホームページ：<https://www.gojouyama.jp>

« 近鉄奈良駅前・JR奈良駅前より »

奈良交通バス「奈良県総合医療センター行」で「六条山」下車すぐ（所要時間40分）

« 近鉄橿原線 西ノ京駅より »

奈良交通バス「奈良県総合医療センター行」で「六条山」下車すぐ（所要時間8分）